



『物語』の力

第35回中之島まつり

第4回
中之島
映画祭



今年のテーマは【『物語』の力】です。作り手と受け手が表現された『物語』を通してコミュニケーションをとるという認識・距離を改めて感じ、考えるという意味を込めてつけました。
日常、テレビやブログなど様々な『物語』が身近に溢れています。
そんな『物語』と認識してしまうものの飽和した状況から改めて、その意味を問う事が必要なのではないでしょうか？
今回上映する作品達から、『物語』の力を感じてもらえれば幸いです。

最後に、映画は観客を得て初めて完成します。どうぞ皆さまの目で映画を完成させて下さい。

そして「おもしろい」という映画があれば応援してください。

観客の皆さまの一票が「映画」の未来につながるはずです。

中之島映画祭 松井 敏喜

time table

open pm 0:30

start pm 1:00

5/3 (WED)

5/4 (THU)

5/5 (FRI)

pm 1:10 ・特別上映
『テツコとハルカに
おまけのトオル』 (15min)

pm 1:30 ・四畳半大学 (42min)

pm 2:15 ・ZUGABE! 特集上映
『ハートに火をつけて』 (31min)

pm 2:50 ・剥き出しにつぼん (91min)

pm 1:00 ・あまがさ (20min)

pm 1:25 ・水の大師の姉弟 (61min)

pm 2:30 ・あの日、夏の日 (25min)

pm 2:55 ・ZUGABE! 特集上映
『coffee fish』 (Hi-8/20分)
『ZUGABE! 1分映像作品3本立』 (DV/3分)

pm 3:30 ・特別上映
『赤い束縛』 (74min)

pm 1:00 ・放課後ノート (28min)

pm 1:35 ・吉村佳雄
WALKING, SLEEPING (68min)

pm 2:45 ・特別上映
『テツコとハルカに
おまけのトオル』 (15min)

pm 3:10 ・ZUGABE! 特集上映
『海ノダイナマイト』 (32min)

pm 3:40 ・授賞式

ZUGABE! 特集上映

【ZUGABE! ツガベ】=新しい映画と出会う、新しい場所
『ZUGABE!』とはドイツ語で『アンコール』という意味。
今や世界的にも注目を集める関西のインディーズ映画から、
選りすぐりの面白い作品を上映するショーケース的イベント、
それが『ツガベ!』です。



ZUGABE! 主催者：西尾孔志 (にしおひろし)

05年に大阪市が主催する第一回C02にて『おちょんちゃんの愛
と冒険と革命』が最優秀賞を獲得。自身がそれまで注目をされな
かった経験から、「まだ見ぬ傑作が眠っているはず」と定期上映
イベント【ZUGABE!】を始める。

特別上映作品



『テツコとハルカにおまけのトオル』

監督 花岡 央 (2006/DV/15min)

5/3 pm1:10~

5/5 pm2:50~

中之島映画祭グランプリを受賞した、花岡監督の最新作をプロデュース！！

〈キャスト〉

菅 杏奈/有山 空/高司涼太/佐野雄希/田中ともえ/菊地瑞穂/正岡まさえ

〈スタッフ〉

監督・脚本：花岡 央

撮影監督：北川泰誠

音楽：竹上久美子

録音・美術：中間正隆

制作：石川寛朗・西菌修也・松井敏喜

協力：創収プロダクション/プロジェクト・コア/大阪ロケーション協議会

大阪市教育委員会/中之島まつり実行委員会

〈作品紹介〉

元気いっぱい小学生、テツコとハルカは商店街のハチャメチャ娘。

ネイルアートにあこがれる二人は願い事コンテストの商品[お買い物チケット]をねらって行動を開始する。内気な男の子[トオル]も巻き込んで事態は更なる混沌へ。二人の野望は果たして叶うのか？

昨年本映画祭で『ママは小学生』がグランプリを受賞した花岡央監督の最新作を中之島まつりがプロデュース！！

〈監督紹介〉

1974年生まれ、青森県出身。大阪芸術大学在学中に卒業制作として、映画「ママは小学生」を監督。(第3回中之島映画祭グランプリ・JCF学生映画祭入賞)現在は新世界にある某映画館に勤務しながらエンターテインメント映画について研究中。

〈作品紹介〉

ここはたった四畳半しかない大学。生徒は8人。三太は教室の狭さに不満を持ちつつも勉学に励む学生。最先端の教育を目指す四畳半大学は新しい研究機関を作ること積極的である。ある日教室の上から工事音が響く。三太はついに怒りを爆発させストライキをはじめる。よりよい大学を目指すため闘う三太。すばらしい教育機関を作ろうと考える四畳半大学。どれがはたして正しいのか？

〈監督紹介〉 京都造形芸術大学 在学(現四回生)
映像舞台芸術学科映像芸術コース所属

5/3 pm1:30~



『四畳半大学』

監督 佐藤京郎 (DV/42min)



『ハートに火をつけて』

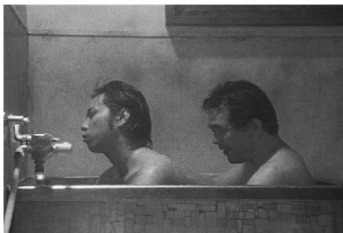
監督 伊藤康弘 (1991/16mm→DV/31min)

〈作品紹介〉さわやかな学園生活は、サイコな戦場へと変貌する・・・
70年代B級アクション風学園ドラマ!! 91年度の大阪芸大卒業制作作品。

〈監督紹介〉豊富な映画知識を駆使して現在は映画ライターなどでも活動中。

〈主な受賞歴〉

- 1989年 大阪芸術大学ファースト・ピクチャーズ・ショー委員会賞『鋭利な狂気』
1991年 大阪芸術大学卒業制作話題賞『ハートに火をつけて』
1999年 シナリオ工房・短編コンクール2作品受賞『親友』『たすけて』



『剥き出しにっぽん』

監督 石井裕也 (16mm/91min)

〈作品紹介〉

現代日本についての映画で、人間臭い映画。

〈監督紹介〉

埼玉県浦和市出身。22歳。大阪芸術大学映像学科卒。
現在、日本大学大学院に在籍。

〈主な受賞歴〉

- 第1回C O 2映画祭奨励賞。第4回横濱学生映画祭入選。
第9回調布映画祭入選。第24回そつせい祭グランプリ。



『あまがさ』

監督 中川信雄 (DV/20min)

〈作品紹介〉

まったく違った向きに進んでいた三人が、ふっと接して、
ふわりと離れて、進んでいくお話。

〈監督紹介〉

1986年生まれ。大阪芸術大学映像学科三回生。大学入学後、撮影助手として
いくつかの学生映画作品に参加し、監督としての活動をはじめる。
現在、卒業制作作品の企画中。



『水の大師の姉弟』

監督 今野裕一郎 (DV/61min)

〈作品紹介〉

2004年夏、劇映画のロケ場所を探している中で、僕は淡路島の海沿いの料理店の姉と弟に出会う。その劇映画にも出演してもらうが、その夏の台風により長年続いた店は打撃を受けてしまう。次の年の夏、僕は自然と生きる二人の日常にカメラを向け、見つめる。

〈監督紹介〉

1981年千葉県柏市生まれ。父の仕事の都合で転校を繰り返す少年期をおくる。その後、横浜国立大学を中退して京都造形芸術大学映像学科に入学。現在4年生。主に劇映画とドキュメンタリーを撮っている。



『あの日、夏の日』

監督 仲 美由希 (DV/25min)

〈作品紹介〉

専門学生二年前期、何を思ったか個人ゼミに入った所為で脚本も撮影も出演者の送り迎えも全部一人で行なわなければならなかった大変思い出深い作品です。車で死にそうになったのも大変だったけど、一番大変だったのはやっぱり夏の暑さでした。気付けば協力してくれたのは高校、中学時代の友達ばかり。でもそれが、凄く意味のあることになったと思います。色んなことを忘れてしまわないように撮っておきたかったから、まだ学生であるうちに撮れて本当によかった。

〈監督紹介〉1986年生まれ 2006年大阪ビジュアルアーツ専門学校卒業。

現在は大阪で編集アシスタントの仕事をしています。

〈主な受賞歴〉卒業制作「それから明日が」母校で奨励賞受賞

【所属団体】「感覚基地」<http://kankakukichi.fc2web.com/>

『Coffee fish』

監督 山田雅史 (1996/Hi-8/20min)

『ZUGABE! 1分映像作品3本立』

監督 山本良子/今井庵 (DV/3min)

〈作品紹介〉男は何かを釣っていた・・・

シュールなユーモアと独自の映像美が悪夢的な魅力のキュートな短編。

NEW Cinema東京ビデオフェスティバル2002 ビデオケーション賞受賞

〈監督紹介〉●山田雅史/暗闇の映像魔術師。絵画や詩の朗読も行う多才人。

恐ろしくもユーモア溢れる作品世界と優れた映像センスが高い評価を得ている。

『つぶろの殻』PFF2004入選・パンクバー国際映画祭・プサン国際映画祭参加

【ZUGABE! 1分映像作品3本立】

●山本良子/ 京都造形大学卒業後 嶋本昭三に弟子入り、

現在、映像作品やドキュメンタリーを制作。

●今井庵 /シュールにシニカルにブラックに笑いを交えて社会を見つめる『関西の苦笑王』

ひろしま映像展入選・インディーズムービーフェスティバルルーザーラウンド入選

AQコンテスト入選

特別上映作品



写真提供 (C) クートワンススタジオ

『赤い束縛』

監督 唐津正樹 (2005/DV/74min)

5/4 pm3:30~

劇場公開スケジュール

- PLANET studio+1 (パイロットビル2F) ●2006年7月24~30日 21:00~ (予定) 1週間レイトショー
- 【料金】前売り800円チケットを町プロブースにて発売!! (当日:1000円)
- 問い合わせ先: 075-451-0056 (CINEMA ENCOUNTER SPACE) or 090-1918-1881 (田中) ※詳しくはパンフ折込チラシをご覧ください。

海外映画祭・劇場公開をへて凱旋上映!! 中之島映画祭、常連の唐津監督最新作!!

<キャスト>

後藤直樹/平原夕馨/金本健吾/山本華菜子/武藤美帆/島田大志/福森一世

<スタッフ>

製作: 町家プロダクション 監督・脚本: 唐津正樹

撮影: 近藤龍人 録音: 寺田大祐 衣裳: 園部典子 美術: 樋口麻衣

メイク: 金田英里 音楽: PROVOKE 制作: 松井敏喜・木村文洋

スチル: 堀川高志 (クートワンススタジオ) ライン・プロデューサー 城内政芳

特別協賛: 中之島映画祭

<作品紹介>

WEBデザイナーの浅井は、ある日偶然出会った澤田夫婦に接近。
浅井は夫の奇行に困惑する妻に、憐れみと愛らしさの混在した感情を抱く。
三人の関係は奇妙にねじれてゆき・・・。
現代的なテーマを残酷かつ静かに、シンプルな画面に刻み込んだ作品。

2005年に大阪映像文化振興事業「CO2」の企画制作部門で製作された5作品中の1本(今年2月に2回目が開催)。同イベント上映後、ドイツや、イギリスといった海外映画祭に多数招待され、海外映画批評サイト「MID NIGHT EYE」で2005年の日本映画BEST10に入選。

<監督紹介>

1979年京都生まれ。大阪電気通信大学情報工学科情報工学部2003年度卒業。
在学中、同大学映画研究会に所属し、映画監督大森一樹の研究室で映像を学ぶ。
中之島映画祭には過去『箕谷行64系統(2003年)』『舞踏の星(2005年)』で参加。
2004年京都に映像製作団体: 町家プロダクションを設立。

<入選歴>

- ・第5回フランクフルト Nippon Connection 2005 招待
- ・第13回イギリス レイダンス映画祭 招待
- ・MID NIGHT EYE 2005年度日本映画 9位 他

【所属団体】 町屋プロダクション <http://www.geocities.jp/positionwest3/machia/>



『放課後ノート』

監督 田中智章 (DV/28min)

〈作品紹介〉とある山村の廃校で行われる結婚式の二次会の準備。そこで繰り広げられる、かつての同級生三人の女性の「心の距離」をめぐる物語。

〈監督紹介〉

昭和五十一年（一九七六）、鹿児島生まれ大阪育ち。関西大学社会学部マス・コミュニケーション専攻卒業後、就職難をきっかけに独学で映画を作り始める。

〈主な受賞歴〉

脚本『高気圧ガール』・サンダンス・NHK国際映像作家賞 日本部門二〇〇五 優秀賞
映画『放課後ノート』（二〇〇五／DV／二十八分）・第九回水戸短編映像祭 グランプリ
・プラネット映画祭二〇〇五 入選 ・第2回C02映画上映展 オープンコンペ部門 入選
脚本『女子のこころは入道雲と霧と針ねずみ』
・伊参スタジオ映画祭シナリオ大賞二〇〇五 審査員奨励



『吉村佳雄WALKING, SLEEPING』

監督 宮本杜郎 (DV/68min)

〈作品紹介〉

「吉村さん、不安とかないんですか？」
青春時代、最後の不安や焦燥を静かに描くボンクラアートムービー！
あふらんば、赤犬など関西アンダーグラウンドシーンのミュージシャンが大挙出演。強烈な印象を残す。
観賞後のやり切れなさ爽快感はまさに大阪版『パーマネントバケーション』！！

〈監督紹介〉宮本杜郎・1981年生まれ。大阪在住。



『海ノダイナマイト』

監督 板倉善之 (DV/32min)

〈作品紹介〉

「伝えたかった言葉は宙ぶらりんのまま、やがて爆発音だけが彼女に届く。」

〈監督紹介〉

大阪芸術大学映像学科卒業。第2回C02企画制作監督の一人に選ばれ
『にくめ、ハレルヤ!』を監督。
現在は大学時に結成した「思考ノ喇叭社」にて活動をつづける。

【所属団体】思考ノ喇叭社 HP <http://www.shikounorappasya.or.tv/>



thank you.